

# 計量生物学ワークショップのご案内

日本計量生物学会

## 1. 日時・場所・テーマ

日時：2015年1月9日(金) 15:00~17:00(受付 14:30~)

場所：京都大学 大学院医研究科 医学部 G棟 3階演習室

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_i.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_i.htm)

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町

テーマ：『プロの生物統計家のための教育プログラム』

オーガナイザー：佐藤 恵子(京都大学)、和泉 志津恵(大分大学)

主催：日本計量生物学会

共催：京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 医療統計学

## 2. ワークショップの内容とプログラム

プロフェッショナルは、社会から「よい仕事をしてほしい」と要請されている専門家であり、これに応えるためには「指針や法令を遵守して業務・研究をする」という消極的な姿勢ではなく、「人々の利益に資するよい業務・研究をする」という主体的で能動的な姿勢が必要です。そのためには、各人が自らの行動を自分で考えないといけないですし、その拠り所となるもの(プリンシプル)を身の内に持つ必要があります。

本セミナーは、そのきっかけを与えることを目的としており、事例検討や「考えるシート」などの、頭と手を使ったワークを通じて、プロフェッショナルリズムを涵養していただくことをたくらんでおります。事前の準備として、本学会のHPに掲載されている「統計家の行動基準」(<http://www.biometrics.gr.jp/news/all/20131118-2.pdf>)をご一読ください。

なお、セミナー自体をパッケージ化して、受講者の方々が職場に持ち帰り、同僚や新人の教育に使用していただくことも考えており、セミナーに対する評価もお願いします。

### ～ プログラム ～

#### 1) プロフェッションとは何か：講演

講師：佐藤 恵子(京都大学)

#### 2) グループワーク 1

ある事例をもとに、「自分はどうか行動するか」を考えていただきます。

ファシリテーター：鍵村 達夫(臨床研究情報センター)、佐藤 俊哉(京都大学)、

寒水 孝司(京都大学)、山本 倫生(京都大学病院)、

西山 智(日本イーライリリー株式会社)、和泉 志津恵(大分大学)

#### 3) 行動基準を考える：講演

#### 4) グループワーク 2

「マンダラチャート」を使って、プロフェッショナルとしての統計家は誰の何のために働くのかを考えていただきます。

## 5) まとめ

コメンテーター：鈴木 美香（京都大学 iPS 細胞研究所）

## 3. 参加費

参加費は無料ですが、会員限定とさせていただきます。グループワークを行うため、先着 30 名とします。

## 4. 参加申込方法

下記申込内容をご記入の上、件名を『計量生物学ワークショップ参加申込希望』とし日本計量生物学会事務局までお送りください（FAX 03-3234-7472、E-mail biometrics@sinfonica.or.jp）。申込受付後、受付登録通知をご連絡いたします。

申込受付期間：11月4日（火）より12月19日（金）まで。

### 《申込記入内容》

1. 参加者氏名（ふりがな）
2. 申込種別：正会員、学生会員、賛助会員
3. 申込内容：ワークショップのみ、ワークショップと懇親会
4. 所属
5. 連絡先住所
6. TEL & FAX
7. E-mail

### \*\*\*付記\*\*\*

0. 非会員の方が参加申込受付時までに学会への入会の意思をお示しいただいた場合は、会員参加として受付をいたします。

1. 同日 13 時 30 分から同会場にて、計量生物学講演会が開催されます。
2. 同日 18 時より懇親会を開催します。参加費は、5000 円(社会人)、3500 円（学生、社会人を除く）の予定です。参加ご希望の方は、ワークショップとともにお申し込みください。